

JASTRO「COVID-19 対策アドホック委員会」発足について

日本放射線腫瘍学会では COVID-19 感染蔓延に対応するため「COVID-19 対策アドホック委員会」を立ち上げました。現時点で茂松直之理事長、宇野 隆(担当理事)、永田 靖、溝脇尚志、塩山善之、大西 洋、小川和彦、古平 毅の各理事、そして癌関連3学会との連携で西村恭昌、実行グループとの連携で感染症専門病院から唐澤克之の各先生方が委員となっています。COVID-19 感染蔓延についての情報共有と各施設の対応、がん放射線治療における診療上の対応・指針などを検討します。また、当委員会のもとに、放射線治療現場の情報収集・情報交換、JASTRO 会員等への情報提供を迅速に行うことを目的に中村聡明先生をリーダーとして「コロナ対策実行グループ」を置くこととなりました。

今後状況は刻々と変わるとは思われますが、JASTRO として他学会、他団体とも連携してがん放射線治療におけるこの困難を乗り越えるべく対応してゆきたいと考えます。

公益社団法人日本放射線腫瘍学会	理事長	茂松 直之
同	専務理事	宇野 隆

以上